

鳥取県交通安全協会に自転車シミュレータを贈呈

～琴浦大山警察署で贈呈式を開催～

日本損害保険協会鳥取損保会(会長:金澤 圭浩・損害保険ジャパン株式会社 山陰支店鳥取支社長)では、鳥取県交通安全協会に自転車シミュレータ(*)を贈呈し、2月20日(月)に琴浦大山警察署において贈呈式が開催されました。

当協会では、1971(昭和46)年から、自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)の運用益を活用して自動車事故防止対策事業や自動車事故被害者対策事業などの多様な分野に対する支援を行っています。

本事業の一環として、2014年度から、自転車利用者に対して、自転車の安全利用やルールの遵守等の徹底を図るため、全日本交通安全協会を通じて、自転車シミュレータを贈呈しています。2022年度は鳥取県を含む10府県の交通安全協会に対し贈呈しました。鳥取県への贈呈は2018年度に次いで3台目となります。

贈呈式では、金澤会長から、鳥取県交通安全協会 琴浦大山地区協会 田中 明会長に目録を手渡し、「交通安全教室等でご活用いただき、自転車事故防止に役立てていただければ幸いです。」と挨拶がありました。次いで、田中会長から、当協会の交通事故防止に関する取組みに対し謝辞が述べられた上、鳥取県交通安全協会 青木 秀樹専務理事から金澤会長に感謝状が贈呈されました。

当支部では交通事故防止の取組みを推進し、引き続き安全・安心な社会の実現のために貢献していきます。



出席者の記念写真

山柵・琴浦大山警察署長(左)、金澤会長(中央左)、
田中会長(中央右)、青木専務理事(右)



自転車シミュレータを体験する様子

(*)自転車シミュレータ

- ・自転車運転の際に起こりうる危険を体験することで、自転車乗用時のルール、マナー、危険予測を学習する機器。
- ・体験者が自転車部のペダルを踏めば、その速度に応じてモニターの映像が移動し、ハンドルを動かせばその方向に進み、実際に自転車を運転している感覚を得ながら学習することができる。
- ・2022年度は鳥取県のほか、秋田県、山形県、茨城県、神奈川県、新潟県、兵庫県、京都府、愛媛県、大分県の各交通安全協会に同シミュレータを贈呈。